

日本学術会議地域研究委員会
地域学分科会
(第 25 期 第 3 回) 議事要旨

日時：2021 年 7 月 11 日 10:00~12:00

会場：ビデオ会議にて開催

出席者：小長谷有紀、松原宏、矢野桂司、井口梓、池口明子、岩瀬峰代、岡橋秀典、
小林知、小山良太、曾我亨、田原裕子、中澤高志、水内俊雄、宮町良広、
山川充夫、吉田道代、佐無田光 (いずれも名簿順、敬称略)

議事概要

1. 新委員の自己紹介

宮町委員長より、分科会名簿の確認と、新委員として池口明子・連携会員と佐無田光・特任連携会員の紹介があり、各会員より自己紹介があった。

2. 前回（第 25 期第 1 回及び第 2 回分科会）議事録確認

宮町委員長より、資料 2 及び 3 に基づき、第 25 期第 1 回及び第 2 回分科会の議事録の説明があり、承認された。

3. 今後の分科会の進め方について

宮町委員長より、第 25 期の分科会の進め方について、資料に基づき提案があった。本分科会にて、地域振興や地域づくり、地域学、コロナ禍のフィールドワーク、ワーケーション、地域人材など、広義の地域学を想定した Good practice の収集に向けて、分科会会員及び外部者招聘による報告者を選出すること、また社会への公表について、提言の表出について検討を継続しつつ、シンポジウムや出版物の制作を目指すことが提示され、承認された。

4. 報告

1) 岡橋秀典 連携会員（奈良大学文学部教授）「市民の地域学」

岡橋会員より、大学における地域学、及び市民の地域学・地元学に関する近年の動向、広島大学総合博物館におけるエコミュージアムを援用したネットワーク化と地域に開かれた博物館の取り組み事例が報告された。

2) 吉田道代 連携会員（和歌山大学観光学部教授）

「ワーケーション事業の実践と課題：和歌山県を事例に」

吉田会員より、日本と欧米におけるワーケーションに関する議論、及び国内における働き方改革や地域活性化、観光振興策とワーケーション事業の関係性について、先進地・和歌山県の IT 等先端産業のオフィス誘致と連動したワーケーション事例が報告された。

5. その他

宮町委員長より、次回の日程調整は後日連絡する旨、アナウンスされた。